

1 たして同じ数になるようにしよう

答え

①

16	3	11
5	10	15
9	17	4

②

8	3	10
9	7	5
4	11	6

③

4	5	9
11	6	1
3	7	8

解説

① $11 + 15 + 4 = 30$ だから、3つの数をたすとどれも30になります。

② 8の下の数を■とすると、 $10 + 7$ と $8 + \blacksquare$ は同じになります。だから、■は9です。

$9 + 7 + 5 = 21$ だから、3つの数をたすとどれも21になります。

③ 7の上の数を△とすると、 $3 + 7$ と $4 + \triangle$ は同じになります。だから、△は6です。

4の右の数を▼とすると、 $3 + 6$ と $4 + \blacktriangledown$ は同じになります。だから、▼は5です。

$5 + 6 + 7 = 18$ だから、3つの数をたすとどれも18になります。

8		10
■	7	5

4		
	△	
3	7	

4	▼	
	6	
3	7	

2 同じ文字を入れて文を作ろう

答え

① し ② つ ③ み ④ ま

解説

① 「おかし^{むかし}かした^{しゃしん}を^{かえ}してほしい。(昔かした^{しゃしん}写^{かえ}真^{かえ}を返してほしい。)」となります。

② 「げ^{げつまつ}つ^{つぎ}の^{つぎ}つ^{つぎ}ぎの^{つぎ}ひは、^{つぎ}つ^{つぎ}いた^{つぎ}ち^{つぎ}です。(月^{げつまつ}末^{つぎ}の^{つぎ}次^{つぎ}の^{つぎ}日^{つぎ}は、^{つぎ}つ^{つぎ}日^{つぎ}です。)」となります。

③ 「み^{みなと}な^{みなと}みに^{みなと}み^{みなと}な^{みなと}と^{みなと}う^{みなと}み^{みなと}が^{みなと}み^{みなと}え^{みなと}た。(南^{みなと}に^{みなと}港^{みなと}と^{みなと}海^{みなと}が^{みなと}み^{みなと}え^{みなと}た。)」となります。

④ 「いま^{いま}は^{いま}ま^{いま}だ^{いま}、^{いま}な^{いま}ま^{いま}た^{いま}ま^{いま}ご^{いま}の^{いま}ま^{いま}ま^{いま}だ^{いま}。(今^{いま}は^{いま}ま^{いま}だ^{いま}、^{いま}生^{いま}た^{いま}ま^{いま}ご^{いま}の^{いま}ま^{いま}ま^{いま}だ^{いま}。)」となります。

月の^{さいご}最後^{さいご}の日^{さいご}の^{さいご}こと^{さいご}を
「月^{さいご}末^{さいご}」とい^{さいご}う^{さいご}よ^{さいご}。月^{さいご}
の^{さいご}最^{さいご}後^{さいご}の^{さいご}日^{さいご}の^{さいご}次^{さいご}の^{さいご}日^{さいご}は、
次^{さいご}の^{さいご}月^{さいご}の^{さいご}1^{さいご}日^{さいご}だ^{さいご}ね。



Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさを体験しよう!

教科の枠を超えた
思考力を
養います



Z会の本

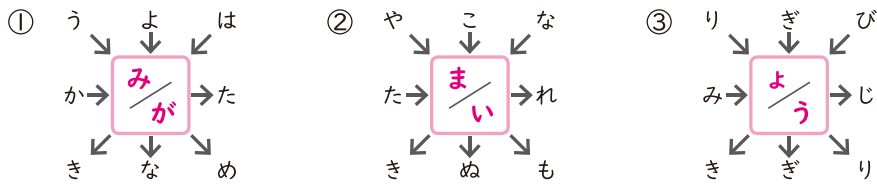


くわしくは
こちら!



3 ひらがな 4 文字の言葉を作ろう

答え



解説

- ① 「うみがめ」, 「よみがな」, 「はみがき」, 「かみがた」ができます。
- ② 「やまいも」, 「こまいぬ」, 「なまいき」, 「たまいれ」ができます。
- ③ 「りょうり」, 「ぎょうぎ」, 「びょうき」, 「みょうじ」ができます。

4 正しい式を作ろう

答え

① $\begin{array}{c} \boxed{1} + \boxed{8} = 9 \\ + \quad + \\ \boxed{6} + \boxed{9} = 15 \\ \parallel \quad \parallel \\ 7 \quad 17 \end{array}$ ② $\begin{array}{c} \boxed{4} - \boxed{3} = 1 \\ + \quad + \\ \boxed{7} + \boxed{8} = 15 \\ \parallel \quad \parallel \\ 11 \quad 11 \end{array}$

③ $\begin{array}{c} \boxed{7} + \boxed{5} - \boxed{4} = 8 \\ + \quad + \quad + \\ \boxed{3} - \boxed{2} + \boxed{6} = 7 \\ + \quad + \quad + \\ \boxed{9} - \boxed{1} - \boxed{8} = 0 \\ \parallel \quad \parallel \quad \parallel \\ 19 \quad 8 \quad 18 \end{array}$ ④ $\begin{array}{c} \boxed{6} + \boxed{8} + \boxed{2} = 16 \\ + \quad + \quad + \\ \boxed{7} + \boxed{9} + \boxed{4} = 20 \\ + \quad + \quad + \\ \boxed{3} + \boxed{5} + \boxed{1} = 9 \\ \parallel \quad \parallel \quad \parallel \\ 16 \quad 22 \quad 7 \end{array}$

《ワンポイント》

計算式の答えによって、□にあてはまる候補に多い少ないがあります。どこから解くとより早く答えにたどり着くかを考えることがポイントです。

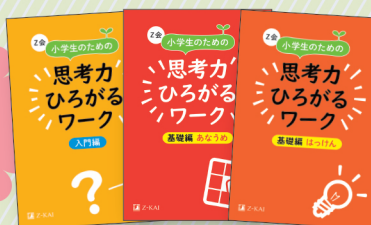
解説

- ① □ + □ = 17 は、8 + 9 = 17 か、9 + 8 = 17 のどちらかになります。
- ② □ + □ = 15 の □に入る2つの数字は、6と9、7と8の2つの組み合わせがあります。
- ③ □ - □ - 8 = 0 は、9 - 1 - 8 = 0 になります。
- ④ □ + □ + □ = 7 の □に入る3つの数字は、1と2と4です。そのうち、7 + □ + □ = 20 の □にも入れられる数字は、4だけです。

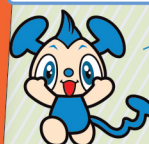
Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさを体験しよう!

教科の枠を超えた
思考力を
養います



Z会の本



くわしくは
こちら!



5 最初の1文字を当てよう

答え

- ① は ② セ

解説

① 日付の言い方の、最初の1文字をならべています。

ついたち	ふつか	みっか	よっか	いつか	むいか	なのか
ようか	このか	とおか	じゅういちにち	じゅうににち	じゅうさんにち	じゅうよっか
じゅうごにち	じゅうろくにち	じゅうしちにち	じゅうはちにち	じゅうくにち	はつか	にじゅういちにち

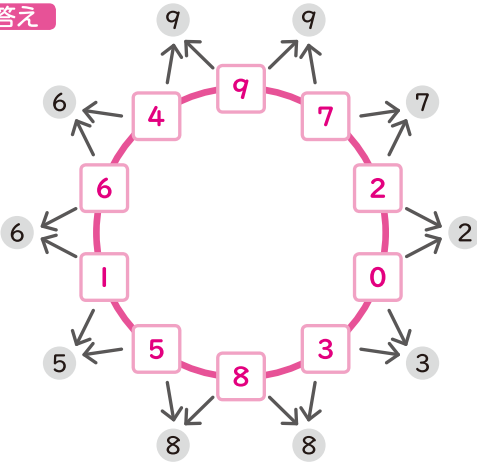
② でかこんだ部分が「今」の表し方で、左が「過去」、右が「未来」の表し方になっています。また、上から1列目が「日」、2列目が「週」、3列目が「月」、4列目が「年」の表し方になっています。

おととい ← きのう ← きょう → あした(あす) → あさって
 せんせんしゅう ← せんしゅう ← こんしゅう → らいしゅう → さらいしゅう
 せんせんげつ ← せんげつ ← こんげつ → らいげつ → さらいげつ
 おとし ← きよねん ← ことし → らいねん → さらいねん

《ワンポイント》
 日を表す言葉は、ほかに「いっさくじつ←さくじつ←ほんじつ→みょうにち→みょうごにち」という表現もあります。また、年を表す言葉は、ほかに「いっさくねん←さくねん←ことし→らいねん→さらいねん」という表現もあります。

6 数を丸くならべよう

答え



解説

同じ数字は2回入れられないので、●の中に2回出てくる6, 8, 9は、どの□に入るか決まります。また、2を指している2つの□の中には、2より大きい数は入れられないので、7と3が入る□も決まります。
 さらに、「2と3」は大ききのちがいが1なので、となり合った□には入れられません。だから、2が入る□も決まります。

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさを体験しよう!

教科の枠を超えた思考力を養います

小学生のための 思考力ひろがるワーク 入門編

小学生のための 思考力ひろがるワーク 基礎編

小学生のための 思考力ひろがるワーク 基礎編

Z会の本

くわしくはこちら!